

木 工

(家具・装備品製造業)

平成30年度

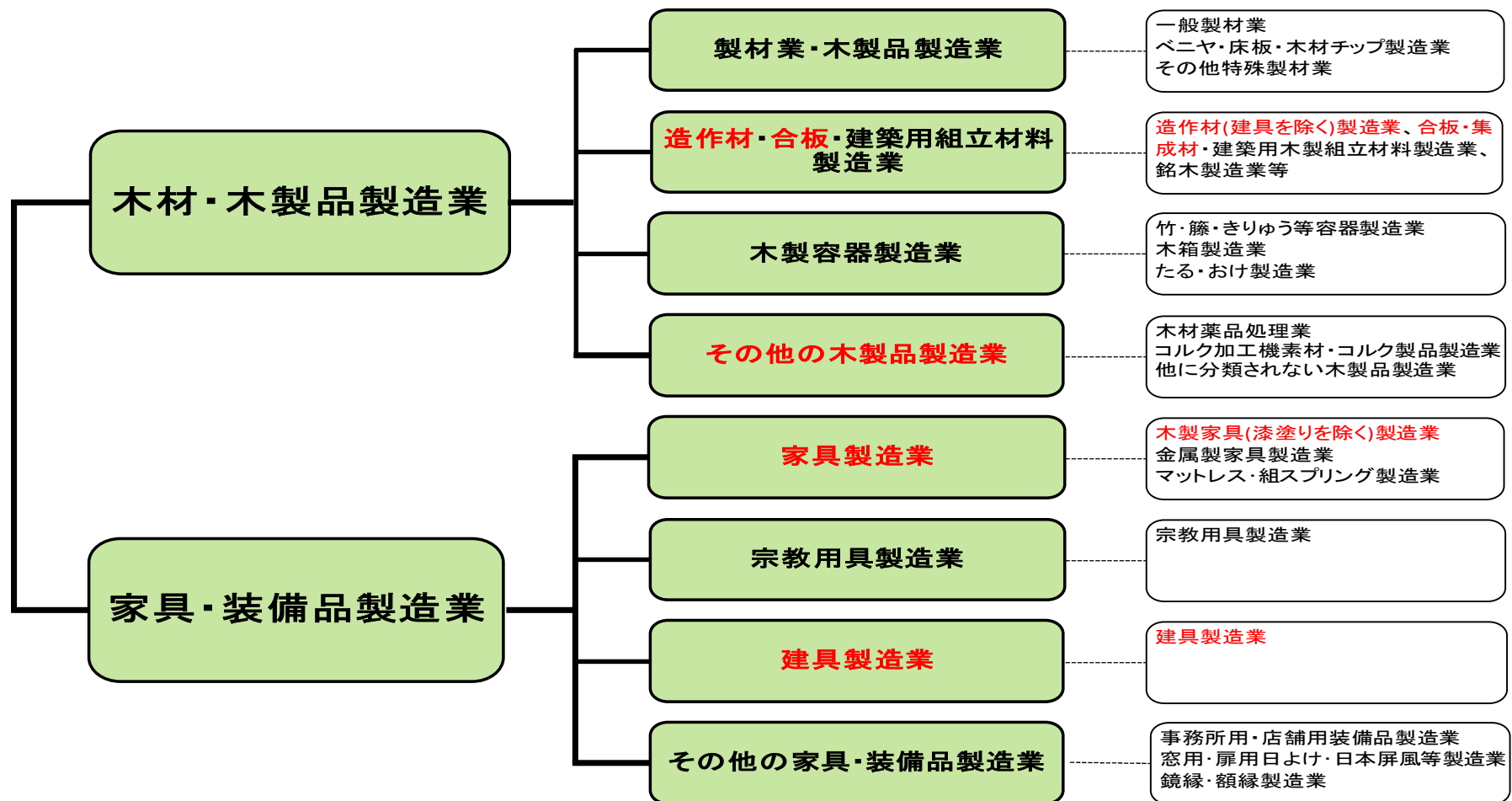
担当者： 主任研究員 木野村 知弘

報 告 内 容

1. 木工産業の構造
2. 木工産業の位置
3. 木工業界の推移
4. 岐阜県の木工産業
5. 岐阜県の家具産業
6. 業界の動向と課題

1.木工産業の構造

* 木工産業は、「木材・木製品製造業」と「家具・装備品製造業」により構成されている。



2-1 国内における木工産業の位置

全国計		製造品出荷額等 (百万円)	構成比
	製造業計	317,247,286	
1	輸送用機械器具製造業	67,871,680	21.4%
2	食料品製造業	28,823,914	9.1%
3	化学工業	28,643,581	9.0%
4	生産用機械器具製造業	20,368,694	6.4%
5	鉄鋼業	17,520,835	5.5%
6	電気機械器具製造業	17,215,564	5.4%
7	電子部品・デバイス・電子回路製造業	15,876,986	5.0%
8	金属製品製造業	14,968,438	4.7%
9	石油製品・石炭製品製造業	13,282,950	4.2%
10	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	12,320,415	3.9%
11	はん用機械器具製造業	11,738,660	3.7%
12	非鉄金属製造業	9,749,207	3.1%
13	飲料・たばこ・飼料製造業	9,541,160	3.0%
14	窯業・土石製品製造業	7,517,917	2.4%
15	パルプ・紙・紙加工品製造業	7,295,636	2.3%
16	業務用機械器具製造業	6,895,425	2.2%
17	情報通信機械器具製造業	6,570,731	2.1%
18	印刷・同関連業	5,020,214	1.6%
	木工産業合計	4,632,599	1.5%
19	その他の製造業	4,130,683	1.3%
20	繊維工業	3,750,002	1.2%
21	ゴム製品製造業	3,157,960	1.0%
22	木材・木製品製造業(家具を除く)	2,684,649	0.8%
23	家具・装備品製造業	1,947,950	0.6%
24	なめし革・同製品・毛皮製造業	354,036	0.1%

*「**木材・木製品製造業**」の出荷額
2兆6,846億円 シェア**0.8%**

*「**家具・装飾品製造業**」の出荷額
1兆9,479億円 シェア**0.6%**

* 木工産業全体で、
4兆6,325億円の出荷
* 製造業全体の出荷額に占める
割合は**1.5%**

2-2 県内製造業における木工産業の位置

岐阜県		製造品出荷額等 (百万円)	構成比
	製造業計	5,594,376	
1	輸送用機械器具製造業	1,016,717	18.2%
2	生産用機械器具製造業	508,736	9.1%
3	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	482,113	8.6%
4	金属製品製造業	458,199	8.2%
5	窯業・土石製品製造業	370,521	6.6%
6	食料品製造業	363,980	6.5%
7	電気機械器具製造業	319,392	5.7%
8	化学工業	307,571	5.5%
9	はん用機械器具製造業	292,191	5.2%
10	鉄鋼業	251,748	4.5%
11	パルプ・紙・紙加工品製造業	210,247	3.8%
	木工産業合計	188,240	3.4%
12	電子部品・デバイス・電子回路製造業	161,544	2.9%
13	繊維工業	139,941	2.5%
14	家具・装備品製造業	112,687	2.0%
15	非鉄金属製造業	105,572	1.9%
16	印刷・同関連業	90,771	1.6%
17	情報通信機械器具製造業	82,504	1.5%
18	飲料・たばこ・飼料製造業	75,553	1.4%
19	木材・木製品製造業(家具を除く)	70,833	1.3%
20	ゴム製品製造業	64,401	1.2%
21	その他の製造業	52,182	0.9%
22	業務用機械器具製造業	45,364	0.8%
23	石油製品・石炭製品製造業	10,384	0.2%
24	なめし革・同製品・毛皮製造業	1,225	0.0%

【製造品出荷額】

岐阜県の製造品出荷額に占める割合は、

家具・装備品製造業が2.0%

繊維工業に次ぐ第14位。

木材・木製品製造業が1.3%

飲料・たばこ・飼料製造業に次ぐ第19位。

木工産業全体で見ると、岐阜県の製造品出荷の3.4%を占める。

出所：平成29年工業統計調査(経済産業省)

3 木工産業出荷額・従業員・事業所の推移

ピーク時よりは半減しているものの、近年は回復傾向がある

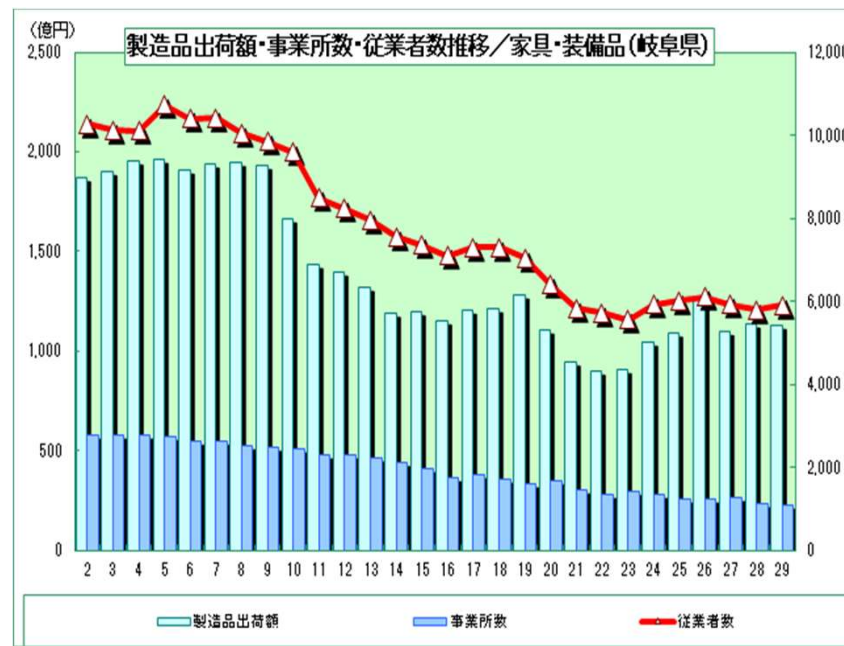
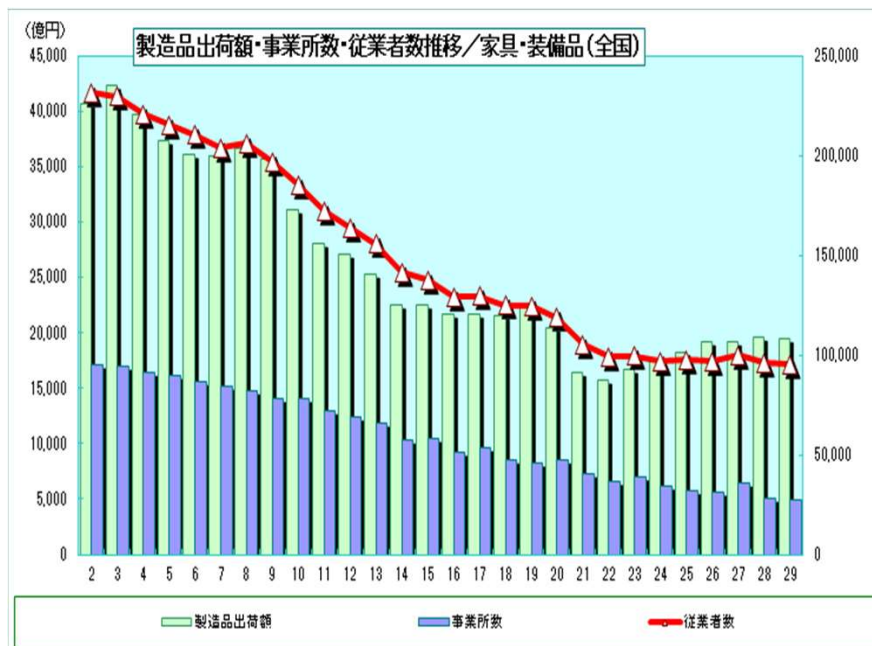
【家具・装備品製造業】

全国（平成3年と平成29年の比較）

製造品出荷額	46.0%
事業所数	28.8%
従業者数	41.5%

岐阜県（平成5年と平成29年の比較）

製造品出荷額	57.4%
事業所数	39.5%
従業員数	55.0%



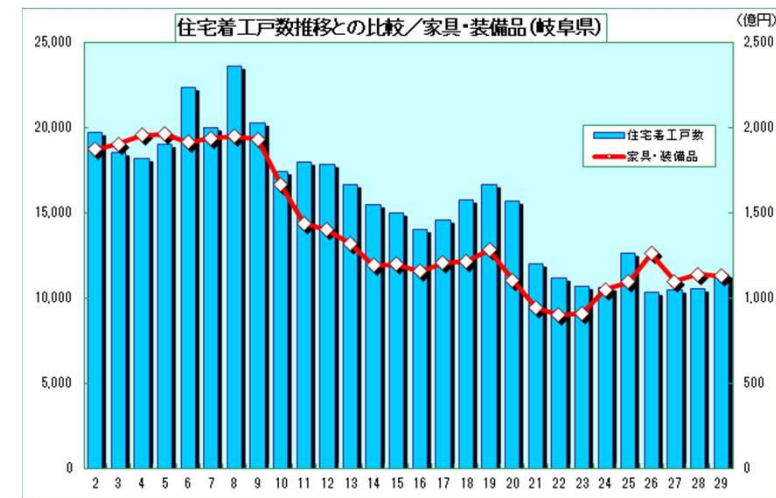
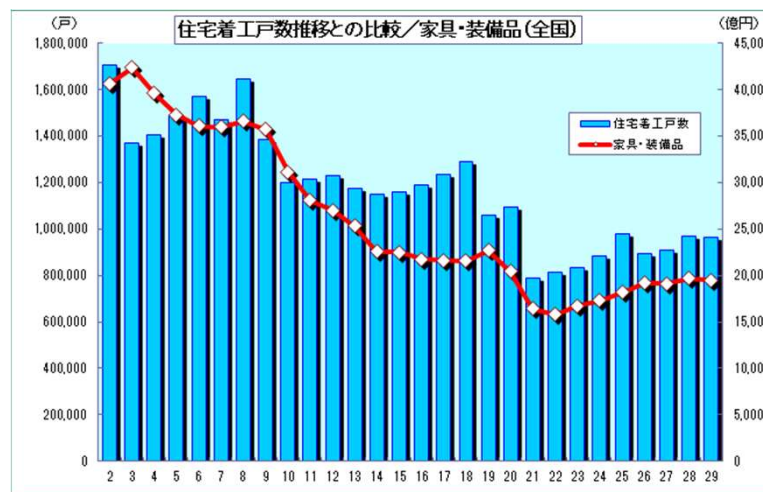
3 - 2 住宅着工戸数の推移

*ピーク時に比べると全国、岐阜県ともに大きく減少。今後も人口減による住宅着工件数減少は必至だと思われる。

【住宅着工戸数】

全国 平成02年 170万戸
 平成29年 96万戸
 56.4%

岐阜県 平成08年 2万3千戸
 平成29年 1万1千戸
 47.8%



出所：平成29年工業統計調査(経済産業省)
 平成29年建築着工統計調査(国土交通省)

4 岐阜県 木工産業の位置

「木材・木製品製造業」は全国第12位

= 出荷額は700.3億円

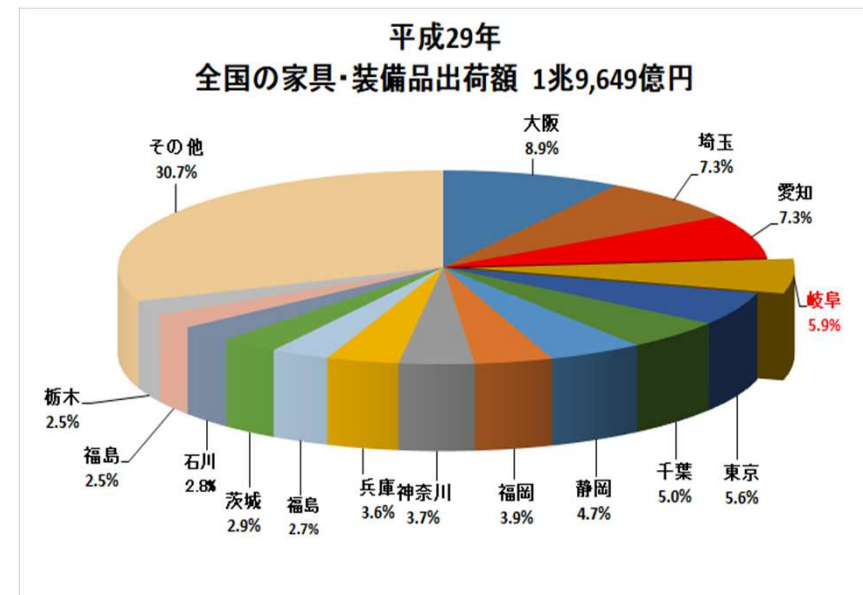
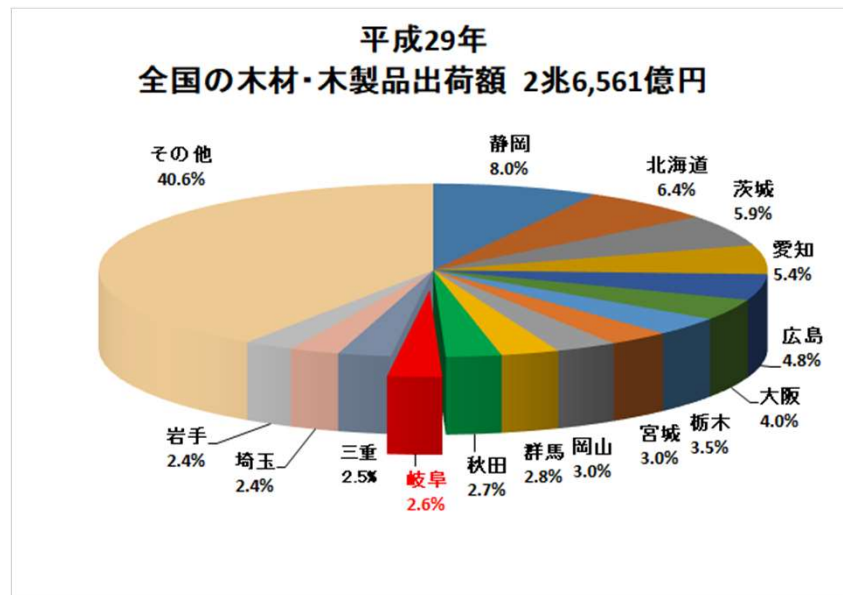
シェア
2.6%

「家具・装備品製造業」全国第4位

= 出荷額は1,136.6億円

シェア
5.9%

木工産業としては、出荷額1,836.9億円で全国第7位

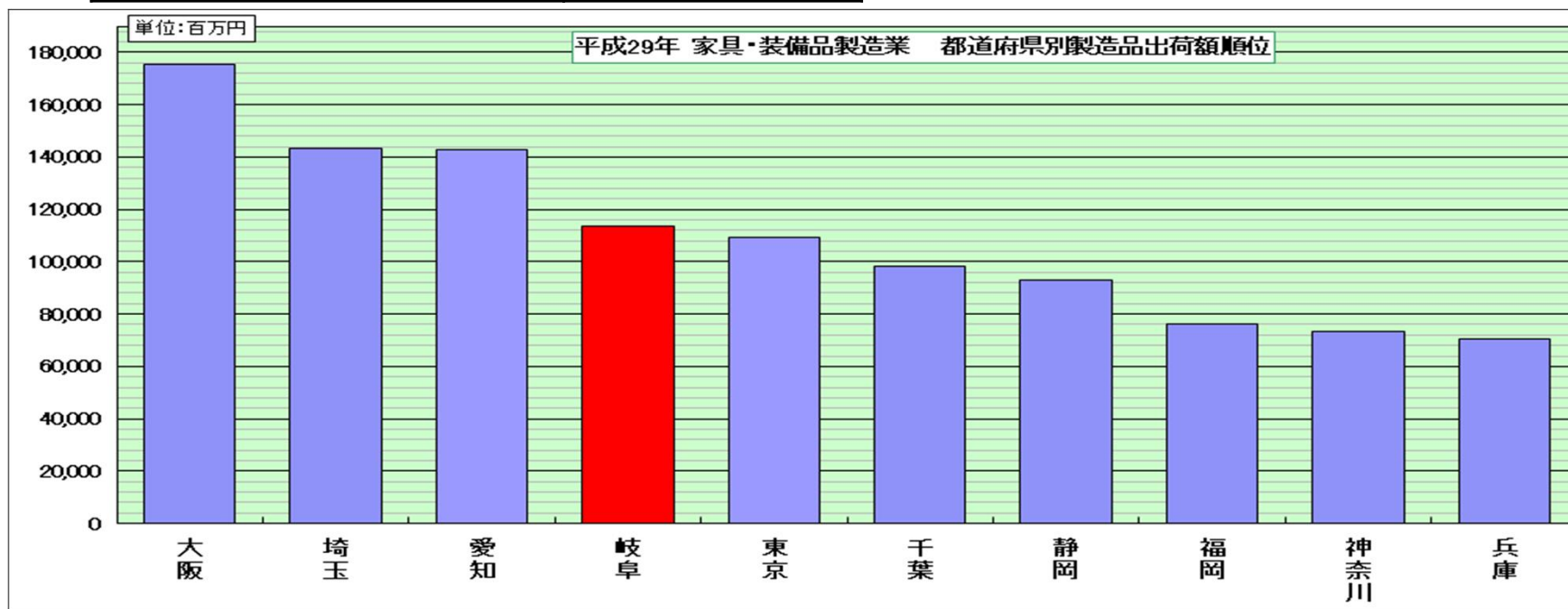


出所：平成29年工業統計調査（経済産業省）

4-1 岐阜県は「家具・装備品製造業」の割合が高い

* 岐阜県の「家具・装備品製造業」の製造品出荷額は、愛知に次ぐ第4位。

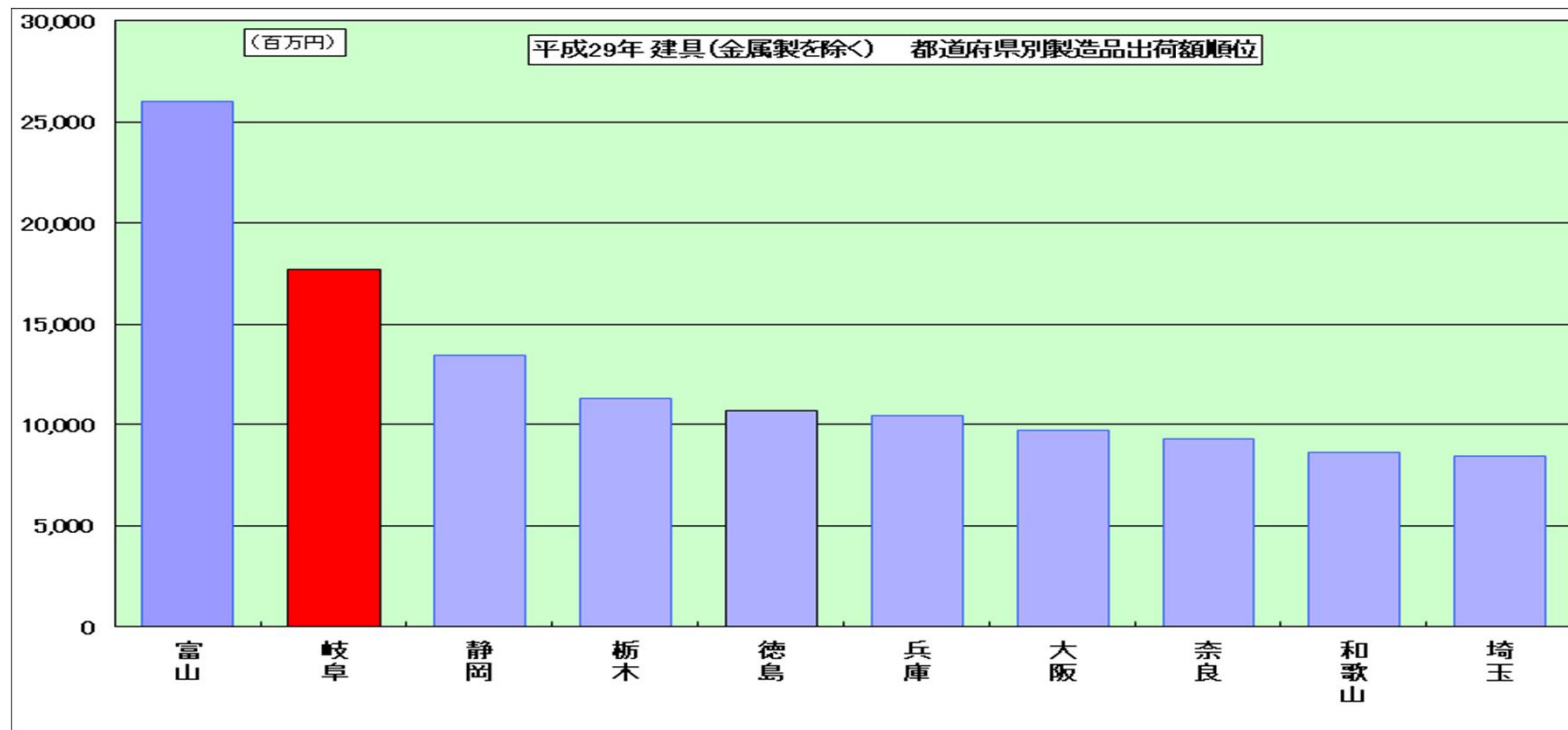
事業所数	225事業所
従業者数	5,901人
付加価値額 (従業者29人以下は粗付加価値額)	47,986百万円



出所:平成29年工業統計調査(経済産業省)

4-2 建具(金属製を除く)は全国第2位

* 岐阜県の「建具(金属製を除く)」の出荷額は
全国**第2位**である。



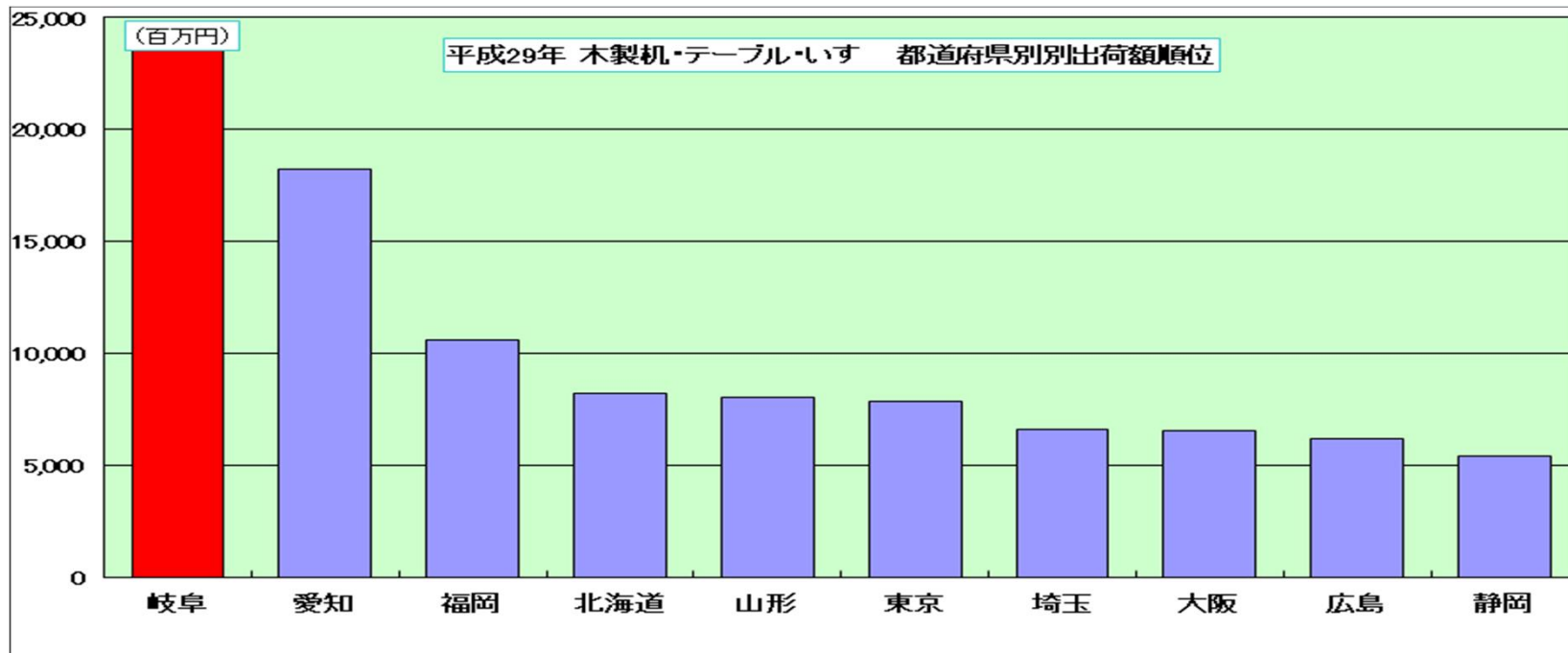
出所:平成29年工業統計調査(経済産業省)

5 木製家具の品目別製品出荷額―①

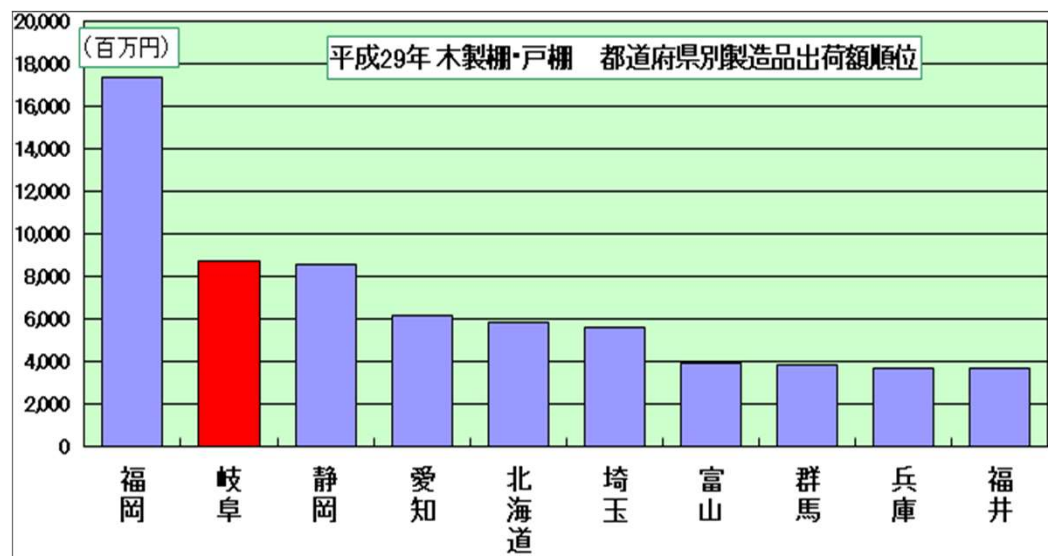
「木製机・テーブル・イス」は**全国第1位**

* 全国出荷額1,466億円 岐阜県238億円 シェア16.2%

* 「木製机・テーブル・イス」は「**飛騨・高山の家具**」に代表されるが、特に、「イス」の産地でもある、「**高山の脚物家具**」が特徴である。

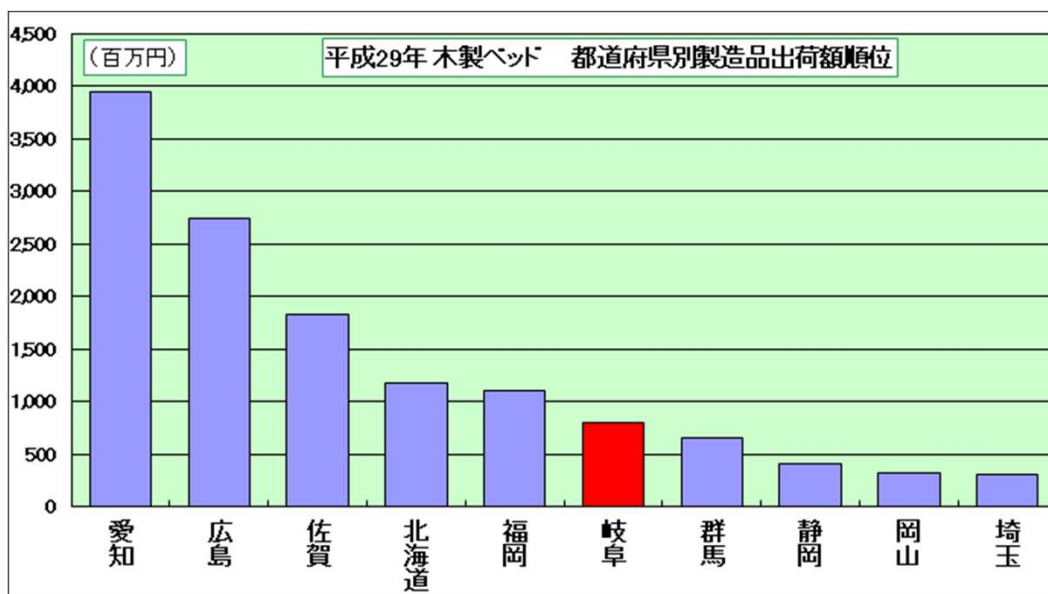


5-1 木製家具の品目別製品出荷額－②



「木製棚・戸棚」は全国2位

全国出荷額合計 1,161億円
 岐阜県 87億円
 シェア 7.5%

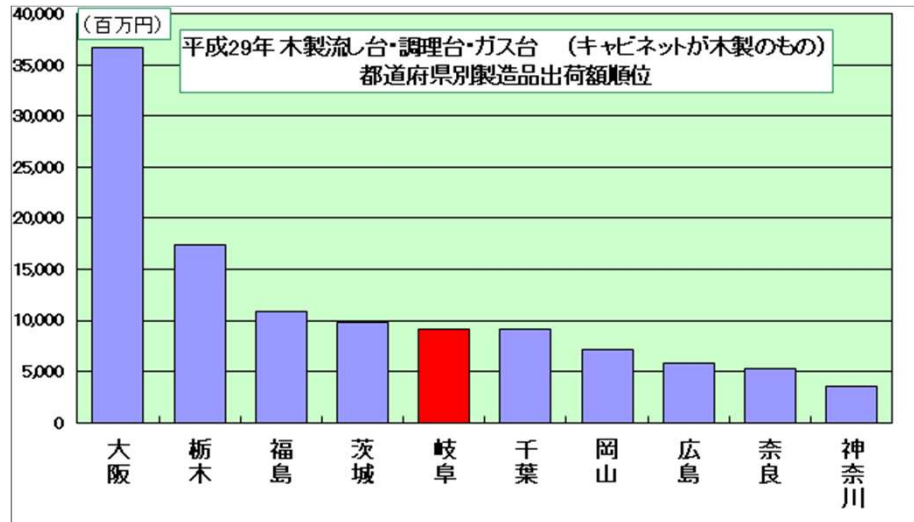


「木製ベッド」は全国6位

全国出荷額合計 170億円
 岐阜県 8億円
 シェア 4.7%



5-2 木製家具の品目別製造品出荷額－③

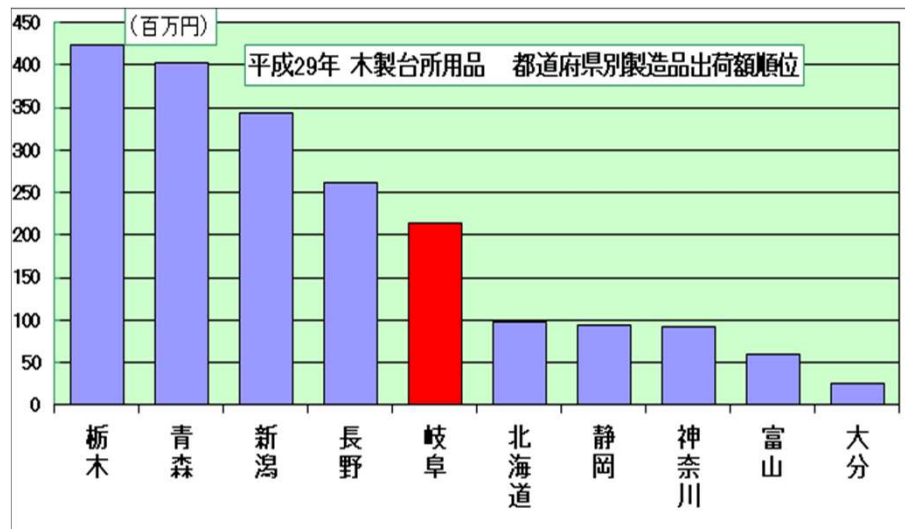


「木製流し台・調理台・ガス台(キャビネットが木製のもの)」は全国5位

全国出荷額合計 1,533億円

岐阜県 91億円

シェア 6.0%



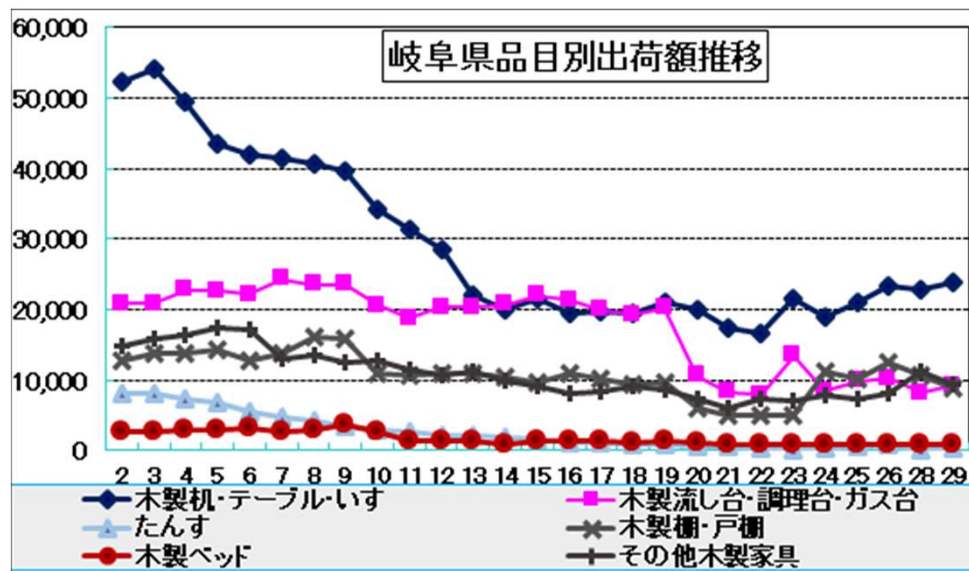
「木製台所用品」は全国5位

全国出荷額合計 33億円

岐阜県 2億円

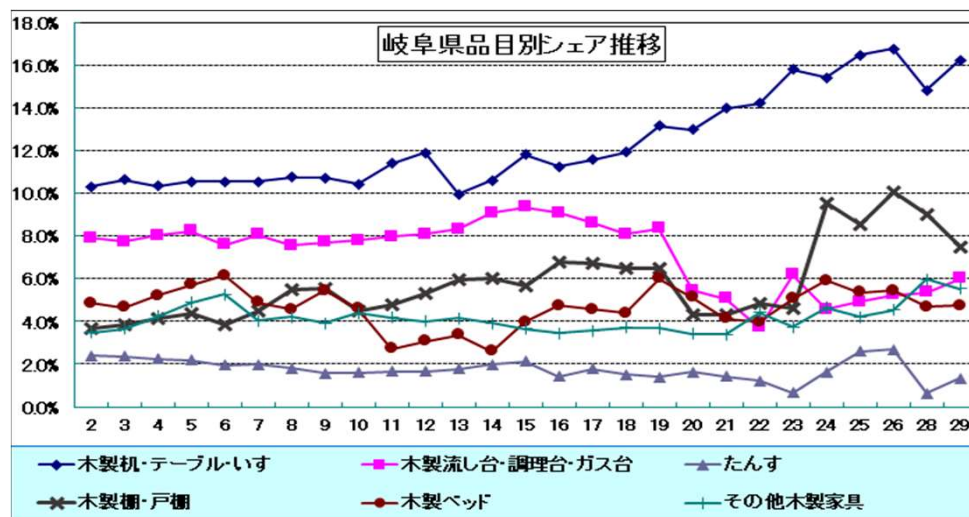
シェア 6.5%

5-3 木製家具製造品の出荷額と全国シェア



* 出荷額はピーク時と比べ多くの品目で減少しているが、「木製机・テーブル・いす」は10年前の水準をほぼ維持。

* 一方全国シェアは、「木製・テーブル・いす」16.2%
木製家具全体では8.3%を占める。

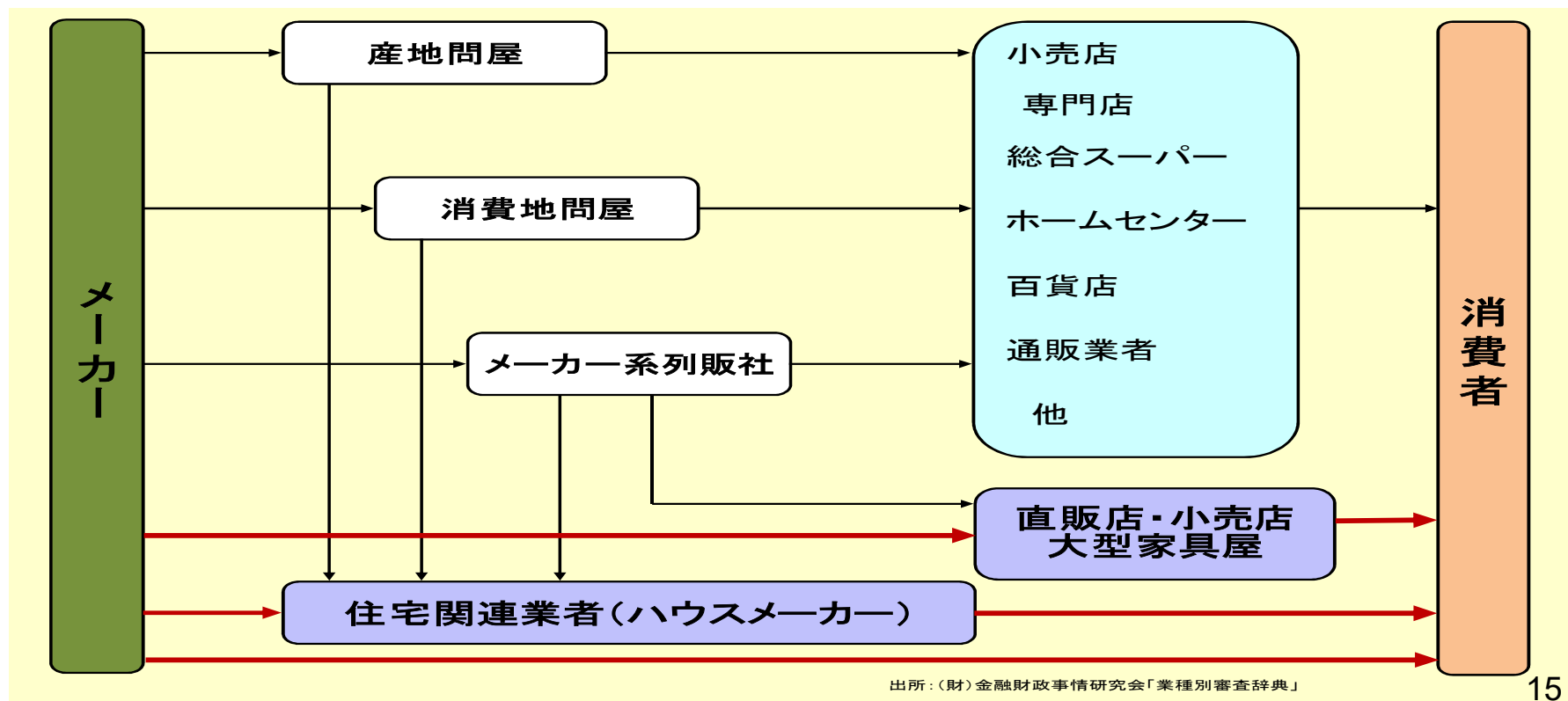


出所:平成29年工業統計調査(経済産業省)

6.木工業界の動向と課題

6-1 流通経路

* 近年は、問屋を介さず、メーカーが直接、大手家具屋・量販店・小売店に納品されたり、自社ショールームを通じ消費者に直接販売するといった形態が増えてきた。また、「飛驒の家具」に見られるような、ハウスメーカーを通じての販売が増加し、さらに、拡大傾向が見られる。



6-2 木製家具業界の課題

小売店の減少

小売業界全体で不調が続いており、その影響で販売経路を確保できない家具製造業者がハウスメーカーの取込に動いている。

箱物家具の建具化

分譲住宅やマンションに見られる作り付けの収納システムやクローゼットの普及により、消費者が箱物家具を必要としなくなった。作り付けの収納システムやクローゼットは家具ではなく建具であり、家具製造業者には参入できない。



新設住宅着工戸数の減少

新設住宅の着工戸数が減少したことで、木製家具の需要が低下傾向にある。

価格競争

海外生産品やアジア地域からの安価な輸入品を販売する大型量販店の台頭により、家具業界も価格競争に陥っている。
さらに、消費者の低価格志向が、これに拍車をかけている。



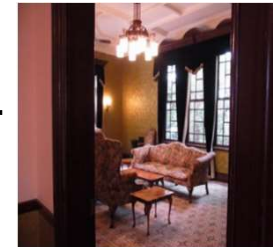
6-3 家具業界の主な動向

OEMの増加

- * 独自の技術力を活かし、他社ブランドの製品を製造するOEMが増加している。

ハウスメーカーとの取引拡大、ショールームの建設

- * 家具の需要は住宅新築時であり、ハウスメーカーでは、建築中に 家具もコーディネートしているため、完成時には既に家具がきまっている。このため、ショールームを建設し、ハウスメーカーやバイヤーに販売を行っている。



独自のブランド力強化

- * 材質を拘り、デザインや機能性など他が真似できない製品づくり。



外国材の使用の増加

- * 外国の広葉樹は樹齢が長く成長が遅い。このため、中の空気の層が少なく、密度が高くなるため、堅く丈夫な製品になる。

